

NO. 304

じゅんあい

平成24（2012）年7月1日

一 歩 一 歩



神を愛し神に愛せられ、神にしたが従う生涯しょうがいを貫いたつらぬダビデ。
そのダビデの基本姿勢、それは“一步一步”の歩みであった。

「主よ、正しいしゅ訴えうったを聞き わたしの叫びさけに耳を傾けかたむ
祈りに耳を向けてください。 わたしの唇くちびるに欺きあざむはありません。

み 御前からわたしのために裁きを送り出し
あなた御自身の目をもって公平に御覧ください。
あなたはわたしの心を調べ、夜なお訪ね
火をもってわたしを試されますが
けが 汚れた思いは何ひとつ御覧にならないでしょう。
わたしの口は人の習いに従うことなく
あなたの唇の言葉を守ります。
ぼうりよく 暴力の道を避けて あなたの道をたどり
一步一步、揺らぐことなく進みます。」 (詩編 17 : 1~5)

“ 一步一步、揺らぐことなく進みます ”
そして絶えず主の御顔を尋ね求めるのであった。

「ひとつのことを主に願い、それだけを求めよう。
いのち 命のある限り、主の家に宿り
あお のぞ 主を仰ぎ望んで喜びを得 その宮で朝を迎えることを。」
(詩編 27 : 4)

「わたしはいつも主に目を注いでいます。
わたしの足を網から引き出してくださる方に。
御顔を向けて、わたしを憐れんでください。
わたしはまず、孤独です。
み 御もとに身を寄せます。
わたしの魂を守り、わたしを助け出し
はじ 恥を受けることのないようにしてください。
あなたに望みをおき、無垢でまっすぐなら
そのことがわたしを守ってくれるでしょう。」
(詩編 25 : 15、16、20、21)

「心よ、主はお前に言われる 『わたしの顔を尋ね求めよ』 と。
主よ、わたしは御顔を尋ね求めます。」

御顔を隠すことなく、怒ることなく
あなたの僕を退けないでください。

あなたはわたしの助け。
救いの神よ、わたしを離れないでください
見捨てないでください。」

(詩編 27 : 8、9)

このようなダビデに主は絶えず御顔を向け、彼の歩みを祝されるのであった。

思えばダビデが少年の頃、ペリシテ軍に攻められイスラエルは風前の灯の如くであった。しかもペリシテ軍のその先頭に立って叫ぶ巨人ゴリアテ。

彼の姿を見ただけでイスラエル軍の人々は震えおののき、彼に立ち向かう者は一人もいなかった。その時少年ダビデは、すくと立ち上がり小石を手にし、『ゴリアテよ、お前は刀と槍と矛を持って私に来る。されど私は万軍の主の名によって行く』——と言って小石を投げた。するとそれはゴリアテの額に命中し、もんどりうって倒れた。すぐさま駆け寄ったダビデは、ゴリアテの刀を抜きとどめを刺して、イスラエルを難局から救済した。



「主は人の一歩一歩を定め 御旨にかなう道を備えてくださる。」

(詩編 37 : 23)

ゴリアテとの対決！ それはダビデの生涯における一歩の出来事であった。そしてその後、王とされてもこの姿勢を崩すことなく、一歩一歩主を仰いですべての時を過ごすのであった。

「主は羊飼いか、わたしには何も欠けることがない。
主はわたしを青草の原に休ませ 憩いの水のほとりに伴い

魂を生き返らせてくださる。

主は御名にふさわしく わたしを正しい道に導かれる。

死の陰の谷を行くとも わたしは災いを恐れない。

あなたがわたしと共にいてくださる。

あなたの鞭、あなたの杖 それがわたしを力づける。

わたしを苦しめる者を前にしても

あなたはわたしに食卓を整えてくださる。

わたしの頭に香油を注ぎ わたしの杯を溢れさせてくださる。

命のある限り 恵みと慈しみはいつもわたしを追う。

主の家にわたしは帰り 生涯、そこにとどまるであろう。」

(詩編 23 : 1~6)

いつもゆらぐことなく平常心を保ち、イスラエルのために祈り、自ら
を主に明け渡し生涯を送ったダビデ。

やがて主のために神殿を建てることを心に決め、必要な資材を集め、準備する。そしてその子ソロモンが見事にそれを完成するのであった。

「どのような人が、主の山に上り

聖所に立つことができるのか。

それは、潔白な手と清い心をもつ人。

むなしいものに魂を奪われることなく

欺くものによって誓うことをしない人。

主はそのような人を祝福し

救いの神は恵みをお与えになる。

それは主を求める人

ヤコブの神よ、御顔を尋ね求める人。」

(詩編 24 : 3~6)

「あなたはわたしの心を調べ、夜なお訪ね

火をもってわたしを試されますが

汚れた思いは何ひとつ御覧にならないでしょう。

わたしの口は人の習いに従うことなく
あなたの唇の言葉を守ります。
暴力の道を避けて あなたの道をたどり
一步一步、揺らぐことなく進みます。
あなたを呼び求めます
神よ、わたしに答えてください。
わたしに耳を向け、この訴えを聞いて
ください。
慈しみの御業を示してください。
あなたを避けどころとする人を
立ち向かう者から 右の御手をもつ
て救ってください。
瞳ひとみのようにわたしを守り あなたの
翼つばさの陰かげに隠かくしてください。」 (詩編 17:3~8)



私達もダビデのように主に心を向けるなら、主は私達をも瞳のように
守り御翼みつばさの陰かげに憩いこわせて下さることでしょう。

大きなことを求めるのではなく、一步一步の歩みを大切にして日々を
過ごしてゆく者になりたい。



《ダビデ：イスラエル・ユダ統一国家を建設した。(前 1004－965 在位)
首都をエルサレムに定めた。多くの詩歌を残しヘブライの音楽に貢献した。
将軍政治家としても卓越した能力を発揮した。》

殉愛キリスト教会

牧師：山縣 實

〒920-0814 石川県金沢市鳴和町タ 210 Tel・Fax 076-251-2247

E-mail : jun-i-yamagata@ishikawa.email.ne.jp

URL : <http://www.ne.jp/asahi/jun-ai/christ-church/>